

計画5

高齢者地域包括ケアシステムの確立

< 5年後の目標 >

高齢者が地域で安心して暮らし続けられるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援がその人に合わせて一体的に提供される地域包括ケアシステムを確立

3か年の取組

1 一人ひとりに合った医療・介護等の連携を支援

医療・介護連携推進員の配置

練馬・光が丘・石神井・大泉の各高齢者相談センターに、「医療と介護の相談窓口」を開設し、医療・介護連携推進員を配置します。推進員は、医療・介護の施設や事業所を把握し、高齢者相談センターと支所を拠点に、その人に合った「医療・介護連携チーム」の編成を支援します。

29年度目標	26年度末見込	3か年計画			合計
		27年度	28年度	29年度	
医療・介護連携推進員 高齢者相談センター4か所 に各1名配置		4名配置	継続	継続	医療・介護連携推進員 高齢者相談センター4か所 に各1名配置
事業費(百万円) ¹		26	26	26	78

1・・・事業費は介護保険会計に計上します。

事業実施課：福祉部 福祉施策調整担当課

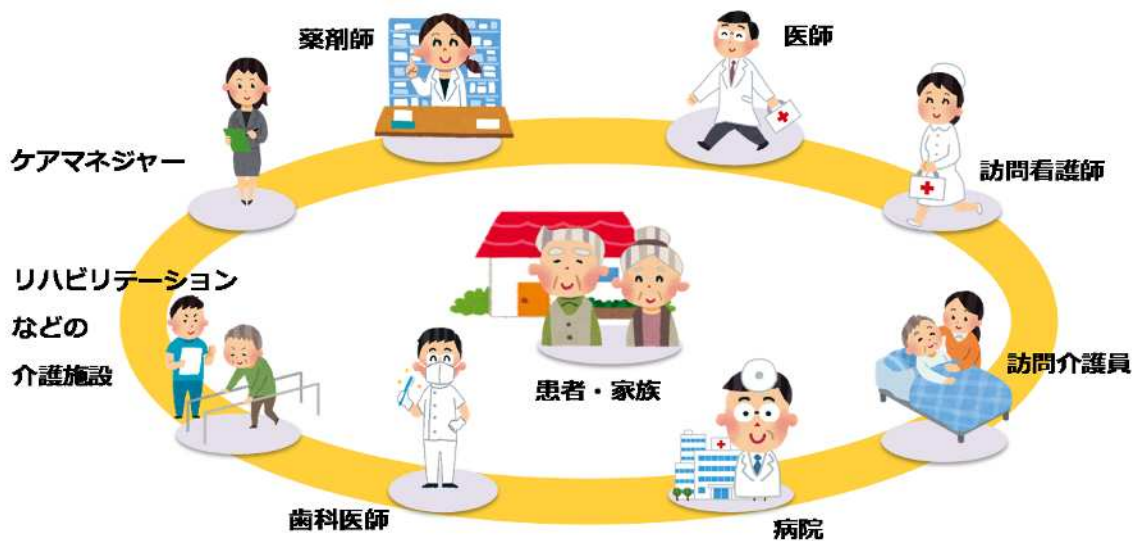
在宅療養ネットワークの構築

急性期から在宅まで切れ目のない医療・介護を提供するため、病院や診療所、介護施設などの地域資源をいかし、医師会等との連携による在宅療養のネットワークを構築します。

29年度目標	26年度未見込	3か年計画			合計
		27年度	28年度	29年度	
在宅療養ネットワークの構築	在宅療養ネットワーク事業の実施	在宅療養ネットワーク事業の充実	在宅療養ネットワーク事業の充実	在宅療養ネットワーク事業の充実 区西部地域新病院による在宅療養支援の開始	在宅療養ネットワークの構築
事業費(百万円)		20	20	20	60

事業実施課：福祉部 高齢社会対策課
地域医療担当部 地域医療課

【在宅療養ネットワーク イメージ図】



2 介護予防の推進

主体的に取り組む介護予防

介護予防と日常生活の支援を一体的に行う「介護予防・日常生活支援総合事業」を新たに実施します。

- 1) 高齢者が長く健康で自立した生活を営めるよう、ロコモ体操の実施会場を増やし、介護予防に取り組むサークルへリハビリ専門職のアドバイザーを派遣することにより、地域における介護予防活動を支援します。
- 2) 区独自の多様な訪問型や通所型の介護予防・生活支援サービスを提供します。

29年度目標	26年度末見込	3か年計画			合計
		27年度	28年度	29年度	
1) ロコモ体操 参加者数 年間1,960人 / 82回	ロコモ体操 参加者数 年間1,000人 / 48回	ロコモ体操 参加者数 600人増 / 18回増 (1,600人 / 66回)	ロコモ体操 参加者数 180人増 / 8回増 (1,780人 / 74回)	ロコモ体操 参加者数 180人増 / 8回増 (1,960人 / 82回)	ロコモ体操 参加者数 960人増 / 34回増 (年間1,960人 / 82回)
リハビリ専門職 派遣 65団体		リハビリ専門職 派遣 56団体	リハビリ専門職 派遣 60団体 (4団体増)	リハビリ専門職 派遣 65団体 (5団体増)	リハビリ専門職 派遣 65団体
2) 介護予防・生活 支援サービス 利用者数 5,534人	介護予防・生活 支援サービス 利用者数	介護予防・生活 支援サービス 利用者数 4,970人	介護予防・生活 支援サービス 利用者数 5,250人 (280人増)	介護予防・生活 支援サービス 利用者数 5,534人 (284人増)	介護予防・生活 支援サービス 利用者数 5,534人
事業費(百万円) ¹		75	82	82	239

1・・・事業費は介護保険会計に計上します。

事業実施課：福祉部 高齢社会対策課
健康部 健康推進課

「街かどケアカフェ」の設置

医療・介護・健康の相談と高齢者等地域住民の交流の場となる「街かどケアカフェ」を、区内でも特に高齢化率の高い地域に設置します。「街かどケアカフェ」は区立施設や訪問看護事業所等に併設し、高齢者相談センターや保健相談所などと連携して下記のサービスや事業を実施します。

- 1) 介護予防や栄養、口腔ケア、認知症等の相談に応じます。
- 2) 閉じこもりがちな高齢者のご自宅を訪問し、介護予防や健康づくりを支援します。
- 3) ロコモ体操などの事業を行い、健康づくりを応援します。

29年度目標	26年度末見込	3か年計画			合計
		27年度	28年度	29年度	
2か所実施		開設準備	1か所開設	1か所開設 (2か所実施)	2か所実施
事業費(百万円) ¹		30	13	22	65

1・・・事業費は介護保険会計に計上します。

事業実施課：福祉部 高齢社会対策課

3 地域での生活を支援するサービス等を拡充

地域生活を支援する拠点等の整備

要介護状態になっても、住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域生活を支援するサービスを提供する拠点の整備を進めます。

29年度目標	26年度末見込	3か年計画			合計
		27年度	28年度	29年度	
認知症対応型 共同生活介護 (グループホーム) 36か所 (617人)	32か所 (545人)	1か所 (18人)	1か所 (18人)	2か所 (36人)	4か所整備 (72人)
定期巡回・随時対応型 訪問介護看護 9か所	7か所		1か所	1か所	2か所整備
複合型サービス ¹ 4か所 (116人)		1か所 (29人)	1か所 (29人)	2か所 (58人)	4か所整備 (116人)
事業費(百万円)		85	149	268	502

¹「複合型サービス」… 小規模多機能型居宅介護のサービスに加え、必要に応じて訪問看護を提供できるサービス。

事業実施課：福祉部 高齢社会対策課、介護保険課

在宅生活支援事業の実施

- 要介護度2以下で特別養護老人ホームの入所対象とならない方や、経済的な理由でサービス付き高齢者向け住宅への入居が困難な方等で住み慣れた自宅での生活を希望する方を対象に、下記の3つから、ご本人の身体状況等により必要なものを組み合わせて利用できる事業を開始します。
 - 緊急通報システム
 - 電話や訪問による安否確認・生活相談サービス
 - 食の確保が困難な方等への配食サービス
- 日常生活動作に不自由がある方等を対象とした自立支援住宅改修給付について、自宅のバリアフリー化を支援するため、対象種目の拡大と改修費用限度額の引き上げを行います。

29年度目標	26年度末見込	3か年計画			合計
		27年度	28年度	29年度	
1) 在宅生活支援事業 利用者数 660人		利用者 120人	新規利用者 270人 (利用者390人)	新規利用者 270人 (利用者660人)	利用者 660人
2) 自立支援住宅改修給付 対象種目の拡大 ・ 改修費用限度額 の引き上げ	利用件数 年間720件	対象種目の拡大 ・ 改修費用限度額 の引き上げ	継続	継続	対象種目の拡大 ・ 改修費用限度額 の引き上げ
事業費(百万円)		74	88	102	264

事業実施課：福祉部 福祉施策調整担当課、介護保険課

多様な担い手がきめ細かな生活サービスを提供できる体制づくり

- 1) 地域での支え合いを推進するために、元気高齢者等でボランティア活動を希望する方々に対し、多様な生活支援サービスの担い手を育成する研修を行います。
- 2) 研修修了者が地域で活躍できるよう、生活支援サービスを提供する事業者や団体等への橋渡し役となる「生活支援コーディネーター」を配置します。

29年度目標	26年度未見込	3か年計画			合計
		27年度	28年度	29年度	
1) 高齢者支え合い サポーターの育成		育成研修の実施	育成研修の実施	育成研修の実施	育成研修の実施
2) 生活支援コーディネーターの配置 4名		1名配置	継続	3名配置 (計4名)	4名配置
事業費(百万円) ¹		13	13	41	67

1… 事業費は介護保険会計に計上します。

事業実施課：福祉部 高齢社会対策課

関連する事業

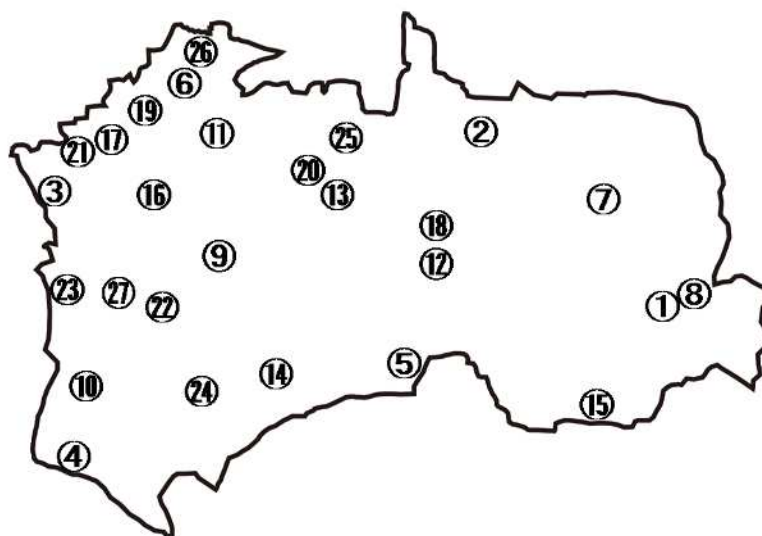
1 介護保険施設等の整備

特別養護老人ホーム等の整備を促進します。また、今後の整備用地を確保するために、土地所有者を対象とした土地活用セミナーを開催します。

29年度目標	26年度未見込	3か年計画			合計
		27年度	28年度	29年度	
特別養護 老人ホーム 2,204床	1,864床			340床 (計2,204床)	340床整備
短期入所 生活介護 (ショートステイ) 387床	332床	21床 (計353床)		34床 (計387床)	55床整備
介護老人保健施設 1,476床	1,080床	156床 (計1,236床)		240床 (計1,476床)	396床整備
都市型軽費 老人ホーム 11施設 (定員210人)	8施設 (定員150人)	1施設 (定員20人) (計9施設)	1施設 (定員20人) (計10施設)	1施設 (定員20人) (計11施設)	3施設 (定員60人) 整備
事業費(百万円)		253	887	802	1,942

事業実施課：福祉部 高齢社会対策課

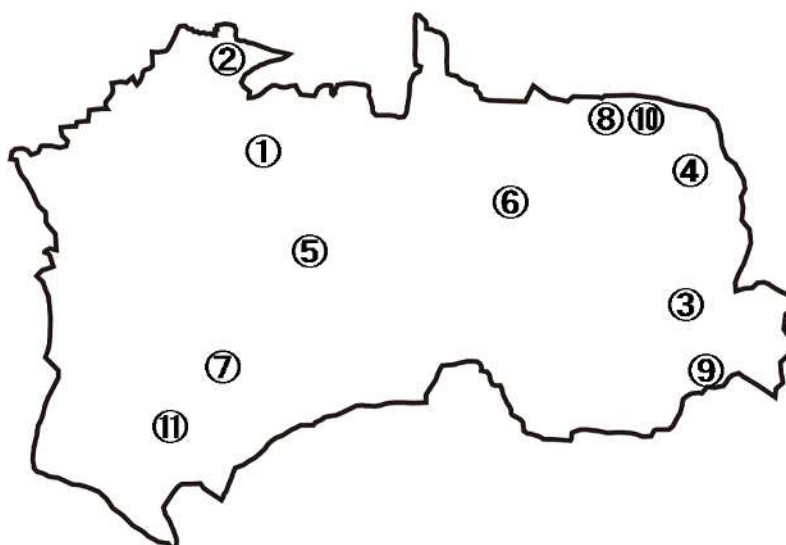
【特別養護老人ホーム 配置図】



(平成26年12月1日現在)

施設名称	所在地	定員 (人)	開設
特別養護老人ホーム 育秀苑	桜台2-2-8	60	昭和62年11月
田柄特別養護老人ホーム	田柄4-12-10	100	平成元年 4月
特別養護老人ホーム 光陽苑	西大泉5-21-2	60	平成 3年 4月
関町特別養護老人ホーム	関町南4-9-28	70	平成 5年 6月
富士見台特別養護老人ホーム	富士見台1-22-4	50	平成 6年 6月
特別養護老人ホーム やすらぎの里大泉	大泉学園町7-12-32	50	平成 6年11月
特別養護老人ホーム 練馬キングス・ガーデン	早宮2-10-22	50	平成 8年12月
特別養護老人ホーム 第2育秀苑	羽沢2-8-16	50	平成10年 4月
大泉特別養護老人ホーム	東大泉2-11-21	120	平成11年 4月
特別養護老人ホーム 第二光陽苑	関町北5-7-22	80	平成11年 4月
特別養護老人ホーム やすらぎミラージュ	大泉町4-24-7	70	平成11年 5月
特別養護老人ホーム 練馬高松園	高松2-9-3	97	平成12年 4月
特別養護老人ホーム 土支田創生苑	土支田3-4-20	80	平成13年 4月
特別養護老人ホーム フローラ石神井公園	下石神井3-6-13	90	平成15年 4月
特別養護老人ホーム 豊玉南しあわせの里	豊玉南2-26-6	63	平成16年 4月
特別養護老人ホーム こぐれの里	大泉学園町2-26-28	50	平成17年 4月
特別養護老人ホーム さくらヶ丘	大泉学園町5-30-36	70	平成19年 2月
特別養護老人ホーム 第2練馬高松園	高松2-9-19	62	平成19年10月
特別養護老人ホーム こぐれの杜	大泉学園町5-18-41	60	平成22年 4月
特別養護老人ホーム みさよはうす土支田	土支田3-27-27	30	平成22年 4月
⑳ 特別養護老人ホーム サンライズ大泉	西大泉4-20-17	50	平成24年11月
㉑ 石神井台特別養護老人ホーム秋月	石神井台6-1-11	177	平成25年 3月
㉒ 特別養護老人ホーム 南大泉かがやきの里	南大泉3-19-31	47	平成25年 4月
㉓ 上石神井特別養護老人ホーム	上石神井2-17-23	30	平成25年 5月
㉔ 特別養護老人ホーム 第3育秀苑	土支田1-31-5	58	平成25年 6月
㉕ 特別養護老人ホーム やすらぎグランデ	大泉学園町8-9-30	90	平成26年 6月
㉖ 特別養護老人ホーム やすらぎシティ東大泉	東大泉7-27-49	50	平成26年12月

【介護老人保健施設 配置図】



(平成26年12月1日現在)

施設名称	所在地	定員 (人)	開設
介護老人保健施設 練馬ゆめの木	大泉町2-17-1	98	平成 9年10月
介護老人保健施設 大泉学園ふきのとう	大泉学園町8-24-25	100	平成10年 9月
介護老人保健施設 ミレニウム桜台	桜台2-1-13	92	平成11年11月
平和台介護老人保健施設 アバンセ	平和台1-16-12	150	平成12年10月
介護老人保健施設 カタクリの花	高野台5-32-12	100	平成13年12月
介護老人保健施設 葵の園・練馬	春日町4-37-30	100	平成19年10月
神石介護老人保健施設	上石神井3-33-6	123	平成22年 4月
介護老人保健施設 橘苑	北町3-7-22	53	平成23年 4月
介護老人保健施設 リハビリパーク練馬	豊玉北1-20-20	150	平成25年10月
介護老人保健施設 第二橘苑	北町2-32-14	20	平成26年 2月
介護老人保健施設 エスポワール練馬	関町東1-1-9	94	平成26年 3月

2 高齢者センターの整備

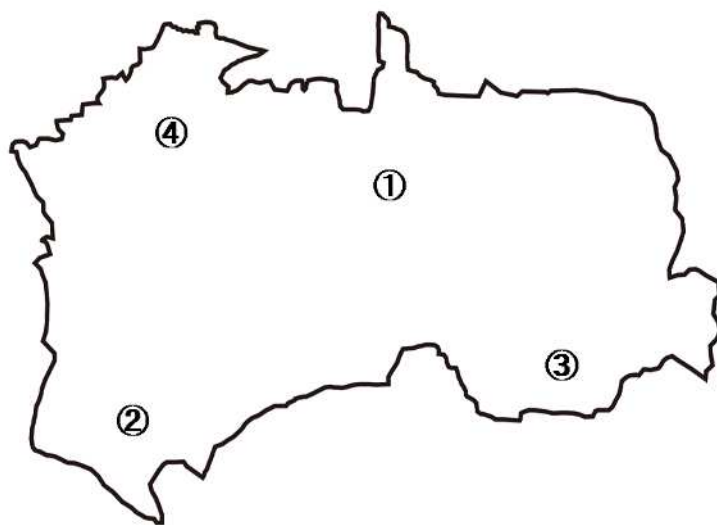
関越自動車道高架下を活用し、大泉地区に4館目となる（仮称）大泉高齢者センターを整備し、元気な高齢者向けに健康づくりやレクリエーションの場を提供します。

（仮称）大泉高齢者センター開設後、高齢者センター4館と敬老館12館との連携強化により、各館の事業運営を充実します。

29年度目標	26年度末見込	3か年計画			合計
		27年度	28年度	29年度	
(仮称)大泉高齢者センターの整備・開設	3館 (光が丘・関・豊玉) 占用許可 実施設計(一部)	実施設計 (完了)	整備	開設	整備 開設
事業費(百万円)		27	895	0	922

事業実施課：福祉部 高齢社会対策課

【高齢者センター 配置図】



(平成26年12月1日現在)

施設名称	所在地	開設
光が丘高齢者センター	光が丘2-9-6 光が丘区民センター内	平成元年 7月
関高齢者センター	関町北1-7-2 関区民センター内	平成 7年10月
豊玉高齢者センター	豊玉中3-3-12	平成16年10月
(仮称)大泉高齢者センター	平成29年度 開設予定	